

第2類医薬品

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
又、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

漢方薬

恵 婦 丸

「恵婦丸」は、西暦200年頃に、中国で編集された漢方医学書「金匱要略」の婦人妊娠病編に記載されている漢方処方「桂枝茯苓丸」を基本に生薬粉末を蜂蜜で練って丸剤としたものです。

一般に「桂枝茯苓丸」は瘀血を改善する駆瘀血剤として知られています。

△使用上の注意



相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談すること
 - (1) 医師の治療を受けている人。
 - (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - (3) 体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
 - (4) 今までに薬により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。

2. 次の場合は、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。

その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）等があらわれる。

- (2) 1ヵ月位服用しても症状がよくならない場合

3. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談すること
下痢

《成分及び分量》

恵婦丸の1日量（30丸）中に含まれる成分及び分量は以下のとおりです。
ケイヒ、ブクリョウ、ボタンピ、トウニン、シャクヤク……………各900mg
添加物として、寒梅粉、コメデンプン、ハチミツ、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、乳糖、タルク、白色セラックを含有する。

（裏面もお読みください）

* 《効能又は効果》

比較的体力があり、ときに下腹部痛、肩こり、頭重、めまい、のぼせて足冷えなどを訴えるものの次の諸症：

月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、血の道症^{注)}、肩こり、めまい、頭重、打ち身（打撲症）、しもやけ、しみ、湿疹・皮膚炎、にきび

注）血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことです。

《用法及び用量》

次の量を1日3回食前又は食間に、水又は白湯で服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
成 人（15歳以上）	10 丸	3 回
15歳未満 7 歳以上	7 丸	
7 歳未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

《保管及び取扱い上の注意》

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。（誤用の原因になったり品質が変わる。）
- (4) 本剤は蜂蜜を用いて丸剤としていますので、丸剤どうしがくっつくことがあります。くっついた場合には、容器の底を軽くたたいていただければ離れます。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本製品についてのお問い合わせは下記にお願い申し上げます。

大峰堂薬品工業株式会社 「消費者相談窓口」

〒635-0051 奈良県大和高田市根成柿574

電話 (0745) 22 - 3601(代)

受付時間 9：00～17：00（土、日、祝日を除く）

製造販売元

大峰堂薬品工業株式会社

奈良県大和高田市根成柿574